

長期構想について(案)

(1) 基本的な考え方(案)

- 長期構想は、計画期間(10年)よりもさらに長期的な展望に立ち、20~30年後の将来へ希望を持てるようなビジョンであるが、計画期間内に取り組む基本政策に加えて、こうしたビジョンを県民に提示することも重要であることから、新総合計画においても、現計画と同様に策定するものとする。
(現行計画では、20~30年後の富山県の姿などをイメージできるような夢のあるストーリーを7つのテーマにて提示)
- 新計画の長期構想のテーマ及び構成については、現計画策定5年後の現時点では、現行計画のものを大幅に変更せず、基本的に引き継ぐものとし、現行計画策定後5年間の科学技術の進展や社会情勢の変化などを踏まえて、新計画の基本政策に盛り込む事項を整理のうえ、内容をアップデートする。
また、「富山県経済・文化長期ビジョン」(平成28年9月策定)で示している構想との整合を図ることとする。

(2) 体系と主な取組みについて(案)

現行計画の体系		新計画の体系(案)	
		柱立て・ねらい	主な取組み(例示)
1	<p>世界のものづくり拠点構想 ~知恵と技を活かす~</p> <p>◎世界のものづくり拠点の形成</p> <p>◎陸・海・空の総合的交通網によるシームレスアジアの実現</p> <p>◎国際ビジネスフロンティアの育成</p>	<p>1 世界のものづくり拠点構想</p> <p>ものづくりを中心に高いポテンシャルを有する本県の産業が、最先端技術の研究開発や戦略的なグローバル展開、文化との融合により、世界のものづくり拠点として発展することを目指す。</p> <p>◎世界に誇るものづくり技術開発・生産拠点の形成</p> <p>◎陸・海・空の総合的交通網による日本とアジアの架け橋</p> <p>◎とやま企業の世界展開</p>	<p>◎世界が欲しがらる次世代技術の開発、世界最先端の生産拠点の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルミ技術等を活かした宇宙太陽光発電(送電)システムの研究 ・高機能素材を組み合わせた「完全自動走行の燃料電池車」の材料・部品生産拠点の形成 ・とやまのデザイン力を活かした商品開発の強化による「デザイン拠点TOYAMA」の形成 <p>◎環日本海・アジアの拠点港湾「伏木富山港」、国内外とのビジネスネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新興国とのコンテナ定期便化や荷役24時間自動化 ・リージョナルジェットの活用等による航空ネットワークの充実 <p>◎国際ビジネス基盤の形成 (とやまグローバル戦略の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家集団のサポートをワンストップで提供する「とやま産業海外支援機構(仮称)」の設置 ・南米、アフリカなど今後の発展が見込まれる国との新たな経済交流の促進 等
2	<p>2 医療・健康・福祉のリーディング拠点構想 ~健やかに生きる~</p> <p>◎医薬品産業とライフサイエンスの拠点づくり</p> <p>◎「みらい地域ホスピタル」の形成</p> <p>◎とやま次世代共生社会の追求</p>	<p>2 人生100年時代とやま 構想</p> <p>富山県がこれまで培ってきた強み(くすり、暮らしやすさ)を活かし、くすりの富山を更に深化させるとともに、地域での互いに支え合いながら魅力ある生活と自分の能力を活かした働き方ができる健康・元気なワーク&ライフを味わえる社会の形成を目指す。</p> <p>◎「世界に注目される薬都」の創出</p> <p>◎最先端技術とホスピタリティの融合による「地域ホスピタル」の形成</p> <p>◎「とやま次世代共生社会」の追求</p>	<p>◎世界に誇るライフサイエンスの研究開発拠点、富山のくすりの世界展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品分野と他分野のものづくり技術が融合した最先端の医療、医薬品、医療機器の研究開発 ・人材の育成と国内外の関係者とのネットワークによる県内医薬品産業の国際展開の促進 <p>◎ICTの活用と人の持つホスピタリティを活かした地域医療・健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VRなどの最先端のICT技術を活用し、各人に応じた健康・医療サービスの提供 ・AI等の活用による効果的・効率的な医療の提供と、AI等では代替できないホスピタリティにより、患者との信頼関係をきずくことができる人材の育成 <p>◎切れ目のない相談・支援やICT等の活用により、誰もが社会の一員として役割を担って地域で安心して暮らせる体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェアラブル端末や空き家を活用した子供・高齢者等の見守りや社会参加、見守り・生活支援ロボットの普及 ・自分の意思で働く場所と時間を選ばず柔軟で自由に働ける新たな働き方の選択を可能に ・ロボット技術等を活かした高齢者や障害者等が働きやすい環境整備 等
3	<p>3 富山がリードする食と農の王国構想 ~食を育む~</p> <p>◎「世界の食糧基地とやま」の形成</p> <p>◎最先端農林水産業の推進</p> <p>◎食と農の王国の魅力発信</p>	<p>3 富山がリードする食と農の王国構想</p> <p>最先端技術の活用などにより本県の農林水産業が本県の経済を支える成長産業の一つの柱となるとともに、アジア諸国等で人口や富裕層の増加が見込まれる中、本県の豊かな食文化・食文化の魅力が、国内はもとより世界に浸透していくことを目指す。</p> <p>◎ハイクオリティな「TOYAMA食材」のグローバル展開</p> <p>◎スマート農林水産業の推進</p> <p>◎食と農の王国の魅力発信</p>	<p>◎世界を視野に入れたブランド品種の開発・販路開拓、エクスポート拠点の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康機能性などを持つ水稲新品種の開発や、野菜・薬用作物等の新品種開発・産地化の推進 ・世界の富裕層向け日本食レストランなど国内外へ高品質な県産食材を供給 <p>◎最先端の農業技術開発、資源・環境に配慮した農林水産業の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AI農業を使いこなす人材の育成、収益性の高い園芸作物の生産拡大 ・農林水産物や食品ロスの肥料化、再エネ化などによる100%循環型農業の実施 <p>◎食と農による賑わいづくりやビジネスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人シェフ向けの伝承料理などの「とやまの食」を始めとした和食の研修の場の整備 ・富山の野菜・フルーツを活かしたとやまスイーツの世界ブランド化 等

現行計画の体系		新計画の体系(案)	
		柱立て・ねらい	主な取組み(例示)
4 文化・知の交流のハブ構想 ~世界とつながる~	<ul style="list-style-type: none"> ◎富山発 世界の文化交流拠点 ◎環日本海・アジア 知のネットワーク形成 ◎世界に通じる人材の宝庫 ◎世界のビジネスパーソンの集う街 ⇒ 1の世界のものづくり拠点構想へ 	4 文化・知の交流のハブ構想 <ul style="list-style-type: none"> 文化、学術、ビジネスなどの分野での海外との交流によって培われる人々のつながりを形成・強化し、文化・知の交流の中核として発展することを目指す。 ◎富山発 世界の文化交流拠点 ◎知のグローバルネットワーク形成 ◎世界に通じる人材の宝庫 	<ul style="list-style-type: none"> ○世界をリードする芸術拠点の形成、とやま文化の世界展開 <ul style="list-style-type: none"> ・世界に誇る文化イベントの発展により、国内外の子ども・芸術家が集う芸術文化拠点の形成 ・舞台芸術の次世代を担う人材の育成 ・工芸文化や富山県美術館等の文化施設、文化財など、魅力ある文化芸術資源を活かした「芸術文化クラスター」の形成 ・越中万葉や本県ゆかりのアニメ等を国内外へ発信し、高志の国文芸「TOYAMA literature」を確立 ○知のネットワーク形成の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・高等教育機関の連携による外国企業との共同研究等を行う体制の構築 ・次世代モバイル・ネットによる、富山県関係者によるネットワーク「とやまコミュニティ」の構築 ○ICT時代を切り拓くグローバル人材育成システムの形成 <ul style="list-style-type: none"> ・AI等を使いこなしたクリエイティブな活動で、富山にイノベーションを起こす人材の育成 ・ふるさと学習の教材等を英語教育に活かすなど、富山県人としてのアイデンティティを持つグローバル人材の育成 ・ICTリテラシーの育成、幼児期から高校まで体系的なキャリア教育プログラムの開発 等
5 環境トップランナーとやま構想 ~快適に暮らす~	<ul style="list-style-type: none"> ◎とやま型エコライフスタイルの推進 ◎再生可能エネルギー技術の開発 ◎スマートシティの形成 ◎快適環境空間の形成 	5 環境・エネルギーフロントランナーとやま構想 <ul style="list-style-type: none"> 自然や生活などの環境や地域特性を活かした資源、エネルギーの循環型社会モデルに転換しながらも、快適に生活できる、環境・エネルギー分野の世界のフロントランナーを目指す。 ◎とやま型スマートシティの推進 ◎環境にやさしいエネルギー技術の開発 ◎快適環境空間の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境にやさしい次世代エコタウンづくり <ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス・廃棄物対策や廃棄物需給のマッチングなどによる、ゼロエミッション社会の構築 ・マイクログリッドシステムの整備により、環境負荷の少ない次世代スマート工業団地づくり ○地域特性を活かした新たなエネルギーの活用や新技術開発 <ul style="list-style-type: none"> ・地熱や風力、メタンハイドレードなどの新たなエネルギーによる発電の低コスト化・実用化や、地域活性化の取組みの推進 ○安心お出かけ空間の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・ウェアラブル端末で誰もが必要な公共交通サービスが受けられる「公共交通提供システム」の整備 ・自動運転バスを都市部のラストワンマイル(主要駅～目的地までの数キロ)や交通不便地域に導入等
6 世界の宝「立山・黒部」発信構想 ~宝を磨く~	<ul style="list-style-type: none"> ◎立山・黒部の文化発信拠点の形成 ◎「世界の山岳観光地」の形成 	6 世界ブランド「立山黒部」発信構想 <ul style="list-style-type: none"> 世界に誇れる豊かで美しく雄大な観光資源を有する「立山黒部」の魅力さらさらブラッシュアップし、発信することにより、世界ブランド化に育て上げ、本県の自然、文化の世界展開を目指す。 ◎立山・黒部の文化発信拠点の形成 ◎「世界の山岳観光地」の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ○立山・黒部文化の発掘・発信、雄大な自然を活かしたイベントの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・立山信仰や立山カルデラ、白岩堰堤などの立山・黒部文化の更なる発掘と発信 ・霊峰立山における全国的・国際的な子ども交流イベントの開催 ○「自然の宝庫 立山黒部」山岳観光プロジェクトの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・海と山を楽しめる上質な宿泊施設等の整備 ○北アルプス周回・横断ルート構想の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・北アルプス横断道路構想の推進 等
7 豊かな海と水の王国とやま構想 ~豊かな海・水を活かす~	<ul style="list-style-type: none"> ◎「不思議の海 富山湾」プロジェクトの推進 ◎環日本海・アジアにおける海洋観光地域の形成 ◎「水の王国とやま」の発信 	7 水がたぐ豊かな海・里山構想 <ul style="list-style-type: none"> 山々から一年を通じて供給されるきれいな水と、美しい富山湾や里山のポテンシャルや恵みの様々な分野での活用と保全を図り、将来にわたってきれいな水、美しい富山湾と里山を引き継いでいくことを目指す。 ◎「美しい富山湾」プロジェクトの推進 ◎海・山・水を活かした里山生活の形成 ◎「水の王国とやま」の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな富山湾の魅力の発見、恵みを活かした産業展開、多彩な観光の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・天然のいけす「富山湾海洋牧場」の形成(大規模養殖へのチャレンジ、定置網魚群の遠隔監視技術による生産性向上など) ・伏木富山港と富山きときと空港のチャーター便を組み合わせたフライ&クルーズ ○海・山近接の富山の魅力を活かした中山間ニューライフコミュニティの形成 <ul style="list-style-type: none"> ・里山資源を活かした持続可能なコミュニティづくり(自然エネルギー、森林資源など) ・農家レストラン・宿泊施設、農作業体験施設を核とした体験型・滞在型のエリアの整備(里山ファーマーズ・ヴィレッジ) ○とやま水辺の回廊づくり、水資源を活用したビジネス展開 <ul style="list-style-type: none"> ・松川～いちち川～富山運河の水辺で人と文化が出会う場の形成 ・浄化技術の海外輸出など、水資源開発を含めた海外展開 等

統合

統合